

2009年10月21日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会が グローバル・コンバージェンスを議論する会合を開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会(ASBJ)と米国財務会計基準審議会(FASB)の代表者は、今週、ノーウオーク(米国)で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJの西川委員長、FASBのハーズ議長主導の下、会計基準のグローバル・コンバージェンスを目指した相互の対話を促進するためにASBJとFASBが定期的に行っているもので、第8回目となりました。

ASBJ及びFASBにとっての重要な取組みは、国内及び海外で利用するための共通の高品質な会計基準の開発を目指すことです。両者は、世界の主要なビジネスや資本市場における共通の財務報告は、信頼性、比較可能性、概念的十分性を有した有効な財務情報を提供する上での決定的な要素であると考え、国際会計基準審議会(IASB)とこのような目標に向けた作業を行っています。

今回の会合の中で、両者は、1組の高品質でグローバルな基準の開発に向けたお互いの戦略を議論しました。その中で、ASBJから、企業会計審議会から2009年6月に公表された「我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書(中間報告)」¹を踏まえたASBJの取組みについても紹介しました。FASBからは、FASBとIASBによる覚書(MoU)において示されたプロジェクトの進捗状況が説明されました。

さらに、両者は、以下の重要項目やプロジェクトについて意見交換を行いました。

- その他包括利益とリサイクリング
- 負債の測定(自己の信用リスクを含む)
- 金融商品
- リース

両者は、このような継続的な議論により相互理解を深めることは、ASBJ及びFASBにおけるこれからの審議や、中長期的に改善を図る重要な項目に対してIASBとともに進めている

¹ 本中間報告については、金融庁のウェブサイトを参照いただきたい。
<http://www.fsa.go.jp/news/20/20090630-4.html>

今後の高品質な会計基準の開発に寄与すると考えられます。両者は、引き続き、長期的課題や現在の懸案事項について意見交換していくことといたしました。

西川郁生 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「国際的に会計基準のコンバージェンスが加速する中、FASB の代表者と今回も有意義な会議をもつことができた。日本においても金融庁は今年 6 月に IFRS 導入に関する中間報告を公表しており、日本の市場関係者においては、IASB と FASB の MoU プロジェクトの動向について一段と関心が高まっている。

今年 9 月の G-20 ピッツバーグ・サミットの首脳声明にも盛り込まれているが、金融資本市場の透明性や健全性の確保に向けて単一の質の高い世界的な会計基準を実現するため、IASB と FASB が協調してコンバージェンスに取り組むことに ASBJ としても引き続き積極的に協力していきたい。」

ロバート・ハーズ FASB 議長は次のように述べ、この考えに賛同しています。

「共通のグローバルな会計基準の開発に影響を与える、財務報告における主要な論点について、我々が定期的に意見を交換することは、今までになく重要となっている。定期的に直接会って会合を持つことは、意見交換の最善の方法である。」

なお、次回の会合は 2010 年前半に東京で開催する予定です。

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASB は、1973 年以来米国における財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASB に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.fasb.org/> をご参照いただきたい。